

広報誌 すこやか

第48号

吉田病院の理念

医療の主人公は、みなさまです。

わたしたちは、

- 一、みなさまにわかりやすい説明と必要な情報を提供し、同意に基づく医療を進めます。
- 一、みなさまの人格、プライバシーを尊重します。
- 一、みなさまにまごころをこめて、親切に接します。
- 一、みなさまに必要な医療を地域と連携して提供します。
- 一、みなさまにより良い医療を提供できるよう、自らを磨きます。



吉田 良子理事長 略歴

1967年 北海道立札幌南高等学校卒

1971年 フェリス女子学院大学 英文科卒

1981年 吉田病院 事務長就任

1984年 北海道医療株式会社 代表取締役社長就任

1989年 医療法人社団慶友会 副理事長就任

1996年 社会福祉法人慶友会 副理事長就任

2003年 株式会社ダ・ヴィンチ 代表取締役就任

2013年 医療法人社団慶友会、社会福祉法人慶友会 理事長就任

新理事長就任のご挨拶

東北大震災から2年半が過ぎ、政権は第二次安倍内閣へと変わりました。2020年の東京オリンピック開催の決定は記憶に新しいことと思います。

今、日本は古き時代の力強さを取り戻し、新たな国へと生まれ変わろうとしています。

時同じくして慶友会も今年33年目を迎え、新生慶友会として心新たに動き始めました。

前理事長は第51回日本人間ドック学会学術大会の大会長講演を、

“From Asahikawa and Japan out into the world”

という言葉で締めくくりました。

その言葉が示すように、慶友会は旭川を基盤としながらも力強く動き出した日本の潮流にのって世界へ挑戦していかなければなりません。

慶友会がこれまでの歴史の中で培ってきた「戦う姿勢」、そのスタイルを貫くこと、失敗を恐れずに挑戦していくことが、今私たち慶友会グループに求められていることではないでしょうか。

吉田病院は今から 33 年前に前理事長である吉田 威により開設されました。開設当初は今のよう社会に求められる病院へと成長するとは予想出来ませんでした、そこには「予防医学」という信念がありました。

この「予防医学」の考えは開設当時としてはとても斬新なものでした。ここ旭川市においてこの考えを浸透させるために、吉田病院という存在を地域の人たちに認識してもらわねばなりません。そのためにすこやか運動会や旭川冬祭りへの参加など、地域へのコマーシャル活動を地道に行っていく中で、前理事長の信念は真綿に水が浸透していくように少しずつこの旭川のまちに広がっていきました。

「予防医学」という考えの浸透、それに伴い慶友会は病院の増床、取り巻く施設の拡充を行いました。「一生を通じた健康管理」を目的とした、慶友会グループによる「安心圏」の構築です。

また、急速なハードの充実による「確かな組織づくり」も必要となり、ISO や病院機能評価などの第三者評価を積極的に取り入れました。独りよがりにならず、社会に適合した形で成長するためには外部から客観的に評価されることで力をつけていかねばならないと考えたのです。

このような中、吉田病院開設 29 年目にして第 51 回日本人間ドック学会学術大会を旭川で開催する機会を与えられました。この大会で問われたものは慶友会の存在そのものであったように思います。そしてその結果は大成功でした。

この成功の裏にあったものは「ホスピタリティ」、職員によるおもてなしの気持ちです。職員の一人ひとりが慶友会を少しでも良くしていこうと思う心が積もって、結果としてそれが個性となり慶友会に根ざしていたのです。

慶友会グループはこの学術大会以後、新しいステージに進みました。「新生慶友会」と呼んでいます。

新生慶友会として現在二つのプロジェクトが進行中です。そのひとつは JHQC です。

慶友会は自ら考える組織へと移行しつつあります。従来の ISO の組織づくりの枠組みを取り払い、新たに「JHQC」を私たちは選択しました。これは組織の強化のみならず組織の革新（イノベーション）を目指すものです。

JHQC の根幹をなす可謬（かびゅう）主義、今あるものが常に正しいとは限らないという考え。これは新しく成長する組織にとって、とりわけその部門部署の長においては特に大切な考え方だと思います。

もうひとつは特別養護老人ホーム「仁慈苑」です。

「仁慈苑」は、前理事長が他では決して真似が出来ないものにしたいという気持ちをこめてつけた名前です。また、新生慶友会として第一号の建物となります。何がこの新たに建つ「仁慈苑」で出来るのか、皆で知恵を出して考えていきたいと思えます。

次に、新理事長として考える短中期のビジョンを三つ挙げます。

そのひとつは「在宅医療」です。

病気の種類や治療法が人それぞれであるように、最後をどこで過ごし、そのようなかたちで看取られたいのか、それもまた人それぞれです。

私たちが目指す在宅医療とはなにか？慶友会では自然との共生、Humanature というテーマがあります。在宅医療を考えるうえで、自然との共生という点を考慮したときの一つの答えが見えてきます。

人はすべてを管理されるのではなく、自発的に何かをしようとする気持ちから生きる意思が生まれます。つまり、既存の医療資源を提供する在宅のあり方とは異なる形の、言うなれば「在宅らしからぬ在宅医療」、これが私たちの目指すかたちです。

もうひとつは「緩和ケアの強化」、それに伴う「グリーンケア」です。

グリーンケアとは亡くなられた患者さんのご家族を配慮して生まれた考えです。

闘病する患者さんはもちろん辛い、けれどそれを支えていく家族や周りの人の精神的な

負担も決して無視できるものではないものです。心ある医療を実践する慶友会の中であって、患者さんを病気という点だけでなく、全体として立体感をもって捉えていくことが大切です。

最後に「がん講演会」です。

慶友会は今後の戦略として「がん」への取り組みを選択しました。

がんという病気を考えた時に内部の充実、つまり化学療法、緩和ケア、がん検診の徹底はもちろん大切になります。また、がん準拠点病院として活動することも必要です。

しかしその慶友会の新たな種を花にするためには、外からの刺激が必要です。がん講演会の立ち上げは良い触媒となって慶友会に追い風となってくれることと考えています。

次に長期的ビジョンを挙げたいと思います。とは言え、遠い先のことは誰にもわかりません。そればかりか、1年先、3年先のことを予想することも困難な時代です。

しかし慶友会には成長していく「種」がいくつかあります。人間ドックの発展としてのスーパーブルジョアドックや医療ツーリズム、ナースプラクティショナーの実現、慶友会から発信していく研究棟の創設。そういった夢や目標がいつか輪郭をなしてくれることを信じています。

慶友会グループには前理事長の宝物が残っています。それは職員です。挑戦していく慶友会で何より武器になり資本になります。

慶友会グループをこれからも宜しく願いいたします。

社会福祉法人慶友会 特別養護老人ホーム 仁慈苑(じんしえん) 平成27年完成予定 次号特集



予定地：旭川市神楽3条12丁目

構造：RC構造4階建て

定員：ユニット型特養（80名）、ショートステイ（8名）、デイサービス（20名）

外来診療担当医師シフト表

		月	火	水	木	金	土
午前	内科	【糖尿】 岩島 保法	【糖尿】 岡田 瑞穂	【糖尿】 岩島 保法 岡田 瑞穂	【糖尿】 岡田 瑞穂	【糖尿】 岩島 保法 岡田 瑞穂	岩島 保法 上田 修 岡田 瑞穂 武田 寛樹 馬場 勝義 府川 悦士 (交代制)
			【肝臓】 ◎古川 博之教授 岡田 充巧 (旭医大)		【肝臓】 松野 直徒 (旭医大)	【臨床遺伝】 ◎蒔田 芳男教授 (旭医大)予約制	
		【消化器・一般内科】 宋 光明	【消化器・一般内科】 横田 欽一				
		【循環器・ スポーツ内科】 武田 寛樹	【腎臓・一般】 石黒 俊哉	【循環器】 佐藤 伸之准教授 (旭医大)	【循環器・スポーツ内科】 武田 寛樹		
		【一般内科】 府川 悦士 上田 修	【一般内科】 馬場 勝義	【一般内科】 府川 悦士	【一般内科】 馬場 勝義 ▲峯松 秀樹	【一般内科】 上田 修 ▲峯松 秀樹	
		【呼吸器】 山本 泰司 (旭医大)	【呼吸器】 大崎 能伸教授 (旭医大)	【呼吸器】 佐々木 高明 (旭医大)	【漢方】 早崎 知幸 予約制	【呼吸器】 南 幸範 (旭医大)	
	外科		浅井 慶子 (旭医大)				
	整形外科	井上 謙一	☆西村 空也 (慶応大)	井上 謙一			井上 謙一 (不定期)
内視鏡	林 文哲 内田 志野				林 文哲 三浦 秀彦		横田 欽一 ▲峯松 秀樹 (交代制)
午後	内科(前半) 13:30~15:30	内田 志野	宋 光明	上田 修	宋/▲峯松	内田/▲峯松	
	内科(後半) 15:30~17:30	馬場 勝義				宋/▲峯松	
	整形外科	■井上 謙一	☆西村 空也 (慶応大)	■井上 謙一			
	専門外来 (予約制)	【メンタル ヘルス・睡眠 クリニック】 ★千葉 茂 教授 (旭医大) 予約制	【循環器・ スポーツ内科】 武田 寛樹	【内分泌・膠原病】 ■府川 悦士		【漢方】 早崎 知幸 予約制	【臨床遺伝】 ◎蒔田 芳男教授 (旭医大)予約制

(受付時間) 平日 8:00~12:00、13:00~17:00

※整形外科は 16:30 までです。

土曜 8:00~12:30

(診療時間) 平日 8:30~12:30、13:30~17:30

土曜 8:30~13:00

各医師の都合により診察日・時間帯の変更がある場合がございます(受診の際には事前にお問い合わせください)。

出張医・派遣医は青文字で記載しております。

◎印の古川博行医師、蒔田芳男医師の診察は月2回となります。

☆印の慶応大学出張医の西村空也医師の診察は15時までとなります。

■印の井上・府川医師の受付は16:30までとなります。

★印の千葉茂医師の受付は13時~15時までとなります。

▲印の峯松秀樹医師の診察は不定期となります。

▽印の島袋嘉修医師の診察は予約制の月1回(第4土曜日)となります。

※第4土曜日が祝日の月は第3土曜日となります。

木曜日の漢方外来は予約制、金曜日の乳腺外来は14時~17時までの予約制となっております。

※上記のシフト表は平成26年4月14日現在のものです。

その他の外来の案内

眼科—毎週木曜日(午前):旭医大眼科派遣医師

婦人科—毎週木曜日(午前):旭医大婦人科派遣医師

甲状腺—毎週第4土曜日:島袋嘉修医師(島袋内科医院院長)

歯科—月曜日~土曜日(第1・3土曜日休診):小西文医師

月3回(水)在宅診療:小西医師

院内診療:小堀善則医師(北大口腔外科)

